

第4学年 チャレンジ 学習指導案

指導者

1 単元名

～こちら エコクラブです2～
ゴミゼロ大作戦

2 指導観

こんな子どもたちだから

アンケートでは、環境問題について考えている子どもは76%で、3年生で環境について学習した経験から、環境への取組について高い関心を示している。また、家庭でゴミ分別に取り組んでいる子どもは60%で、実際の生活の中での取組については、少しずつ活動を始めている。 (意欲・関心)

追究した事実を考えマップにまとめたり、ポートフォリオに整理したりして、お互いの考えを聴き合うことができるようになってきており、自己評価活動も積み重ねてきている。 (学び方)

これまでの学習経験や生活経験から、ごみやリサイクルなど環境に対する見方・考え方をもちことができ、自分の生活と環境とのつながりやかかわり方といった実践的なあり方について、少しずつ考えるようになってきている。 (認識)

こんな教材を使って

単元のねらい

本単元は、「環境に対する家庭・地域・学校等の取組を調べることを通して、複数の人物と共感的に学びながら、環境に対する見方・考え方を見直したり、環境により生活を実践することの難しさを感じたりすることで、かかわる力を育成すること」をねらいとしている。

学習指導要領への意義

身の回りの環境としては、福岡市の中心部に位置しながらも、舞鶴公園やふくろうの森などの自然にも恵まれ、街並みと自然の美しさを感じることができる。そこで、これまでの学習経験や生活経験を生かしながら、地域の環境に取り組む人物を中心に学習を進めていく。

このような教材を取り上げることは、環境に対する課題に探求的に取り組むことができ、自分の環境への見方・考え方を見直すことができるという点で価値高いと考える。

テーマへの意義

子どもたちにとって、Tさんたちとの出会いを通して共感的に環境について学ぶことは、聴き合い活動への意欲を高め、環境に対する自己のあり方を高め、身近な環境にかかわる力を育成し、豊かな学びをつくるという点で意義深いと考える。

こんな手立てで(方法)

つかむ段階では

家庭や地域や学校のごみ調べから、赤坂の街のごみの現状をつかみ、学習問題を設定する。地域のごみ減量に取り組んでいる人物と会うことを通して、自分なりの課題を明確にする聴き合い活動を行う。地域の取組について調べたり、自分の課題に沿った取組をしたいという意欲をもたせたりする。

さぐる段階では

自分の課題に沿って、探求的・共同的に活動しながら、環境に対する取組や実践を通じた自分のあり方を整理し、同じ考えの友達と聴き合い活動を行う。自分の考えを整理して表現物にまとめたり、課題解決に向けた自分の活動の見直しをしたりする。

あらわす段階では

課題に合った表現方法を工夫し、違う考えの友達と聴き合い活動を行う。お互いの考えの共通点から、自分の見方・考え方の変容を振り返りながらポートフォリオ評価を行い、学習問題に対する答えや環境に対する自分のあり方を見直す。見直した自分の考えをもとに、自分にできることを実践する。

T(GT)さん

目指す子どもの姿

自分の身の回りの環境について関心をもち、自分なりに課題をもって環境をよりよくする取組について進んで調べたり、実践したりすることができる。 (意欲・関心)

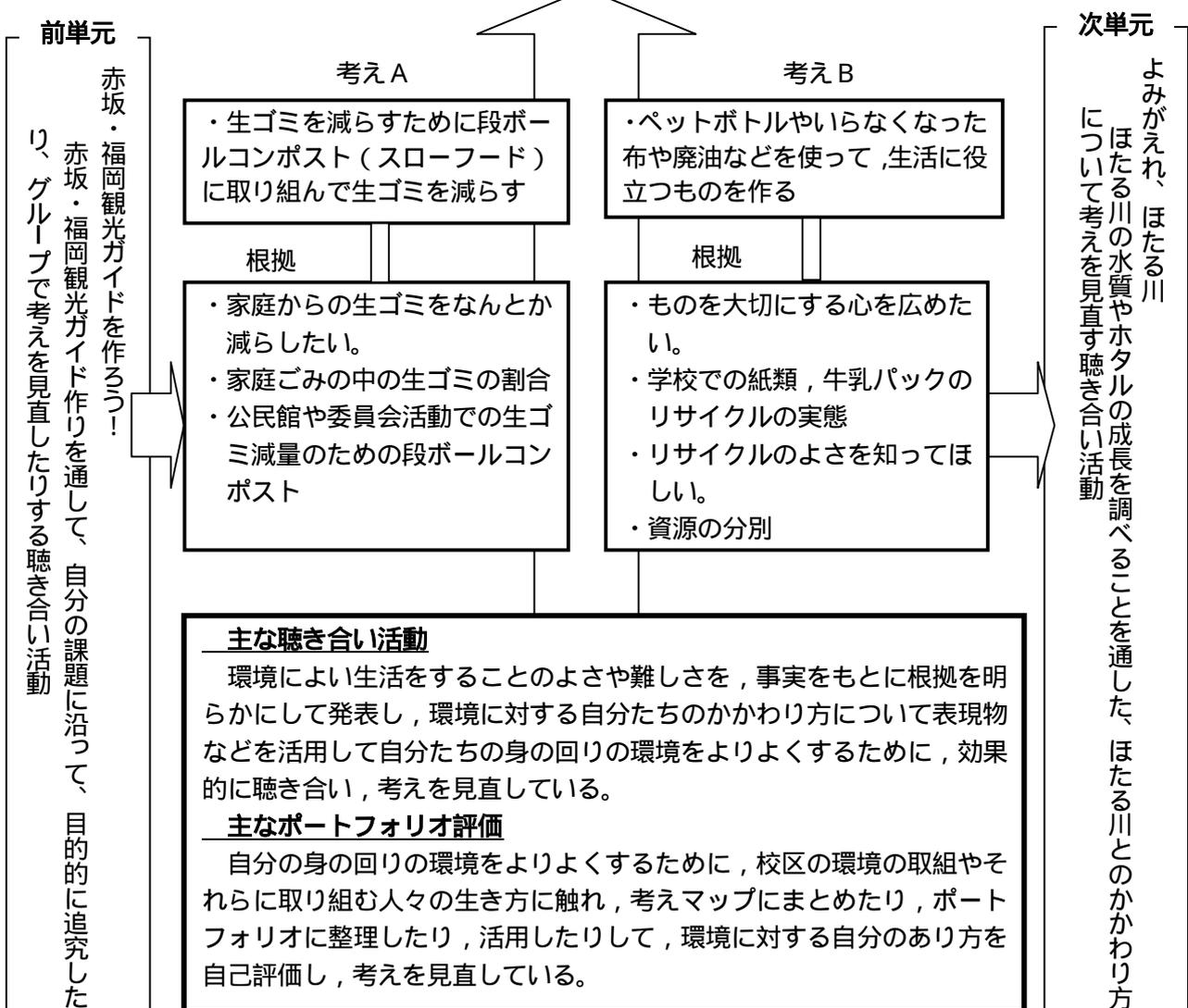
自分の身の回りの環境をよりよくしようとしている人物と主体的にかかわり、自分にできることを考え、取り組んだことを考えマップなどの表現物にまとめ、ポートフォリオに整理して聴き合うことができる。 (学び方)

環境をよりよくするために取り組む人々の生き方に学び、聴き合いを通して、環境に対する自分の見方・考え方を見直し、自分にできる環境への取組を実践することができる。 (認識)

3 単元カリキュラム

総合的な学習の時間テーマ

身近なひと・もの・ことにかかわる力を育てる総合的な学習の時間



(考えAの資料)

9月3日(水)		
ゴミの種類	生ゴミ	タマネギ皮・マニキヤベツ・かぼちゃなしの皮
	その他	ビールびん・おかしのはこ・フック
	燃えないゴミ	ビールカン
	リサイクルゴミ	ペットボトル
	その他のゴミ	
	ゴミ袋の量(大・中・小)	大を2つ分

資料1：家庭のゴミ調べ

資料2：家庭ごみの中の生ごみの割合

資料3：段ボールコンポスト

(考えBの資料)

資料4：学校のリサイクルの実態

資料5：資源の分別

資料6：廃材を使ったリサイクル製品

さ ぐ る	<p>3 実践したことをもとに表現物にまとめ、中間交流をする。</p> <p>(1) 実践した内容や調べた事実から、〇〇ゴミゼロ大作戦に取り組んだ成果や、実践の難しさや課題について聴き合い活動を行う。</p> <p>(2) 聴き合い活動により、自分の実践や考えの不十分な点を補う。</p> <p>(3) 表現物の整理をし、自分の考えをまとめる。 ・考えマップやフリップ、模造紙などにまとめる。</p> <p>(4) 交流をもとに、新たな課題に取り組む。</p>	<p>追究したことを表現物に整理し、考えをまとめている。</p> <p>・実際にゴミゼロ大作戦に取り組んで、ごみはどれくらい減ったのかな。</p> <p>・どのようにまとめると友達に分かりやすく伝わるかな。</p> <p>・環境をよりよくすることは難しいけど、みんなからのアドバイスを次の活動に生かしてみよう。</p> <p>これまでの取組を振り返っている。</p> <p>・友達の考えと根拠とのつながりをしっかり聴こう。</p>	<p>交流活動 同質グループ ・不十分な点を補い、考えを整理する聴き合い活動</p>	1
	<p>4 自分たちの取組のよさや環境へのかかわり方を表現物にまとめ、学習問題の答えを交流する。</p> <p>(1) 聴き合い活動をし、友達の取組や考えのよさを見付ける。</p>	<p>自分の考えの変容を考えマップや自己評価カードに表している。</p> <p>・自分たちの考えをどのようにみんなに発信すれば、みんながゴミゼロに取り組んでくれるかな。</p> <p>環境に対する取組を整理し、自分の考えを効果的</p>	<p>交流活動 異質グループ ・共通点をもとにして考えを見直し、再構成する聴き合い活動</p>	1 本 時
あ ら わ す	<div style="text-align: center;"> </div> <p>(2) 聴き合い活動をもとに、自分の環境へのかかわり方を再構成する。 ・共通点からもう一度学習問題の答えをつくる。</p> <p>5 ゴミゼロ大作戦をもとに「エコフェスタ」を開く。 ・クリーンマップ ・パンフレット ・ポスター、チラシ ・堆肥を使った野菜等 ・リサイクル作品 など</p> <p>6 単元全体を振り返る。 これからの環境への自分のあり方について考える。 ・これからの行動目標「わたしのゴミゼロ生活」</p>	<p>に表現している。</p> <p>・学習問題についてもう一度見直してみよう。</p> <p>・自分たちの取組が広がれば、きっと地域のごみも減るだろうな。</p> <p>・友達や地域の人たちに環境を守ることのよさを広めよう。</p> <p>・環境をよくするためには自分にできることを見付けて、それを続けることと一緒に取り組む仲間を見付けることが大切だね。</p> <p>これまでの学習を振り返り、考えを見直している。</p> <p>・これからも学習したことを自分たちの生活に役立てていこう。</p>	<p>具体物を用い、根拠を明らかにしながら相手に伝えさせる。 《支援》 ポートフォリオ評価 フリップ・考えマップ・自己評価カード 発表の順序を考え、意図的指名をする。 《支援》 実際の生活を想起させ、継続することができるかを検討させる。 《支援》 考えマップ・発言分析 環境をよりよくすることのよさと続けることの難しさの両方から、自分の環境へのかかわり方について考えさせる。 《支援》 ポートフォリオ分析 たくさんの人に効果的に伝える方法を考えさせる。 《支援》 行動観察・発言分析 これまでの学習で学んだ社会事象に対する見方・考え方を生かして、これからの環境へのかかわり方をまとめさせる。 《支援》 ポートフォリオ分析</p>	1 2 1

5 本時

聴き合いを通して、環境に対する自分の見方・考え方を見直す場面

(21/25)

6 本時の目標

「エコフェスタ」に向けての考えのよさや表現方法について聴き合い、これからの取組に必要な考えを見だし、環境に対する自分のあり方を見直すことができる。(学習指導要領から)

「ひと・もの・こと」にかかわりながら追究・実践したことをもとに自分たちの取組を聴き合い、環境に対する自分の見方・考え方を見直すことができる。(テーマから)

7 本時の授業仮説

環境に対する自分たちのあり方を考える聴き合い活動と自分の考えを振り返るポートフォリオ評価活動を設定すれば、身近な「ひと・もの・こと」にかかわる力を身に付け、自分なりのあり方を高める子どもが育つであろう。

8 本時指導の考え方

本時のねらい

本時は、ゴミゼロ大作戦の取組をもとに、「エコフェスタ」に向けての考えのよさや表現方法について聴き合い、環境に対する自分のあり方を見直し、多面的に考えることをねらいとしている。

前時まで子どもたちは、学習問題「環境によい の街にするために、自分にできることを考え、地域に発信しよう。」について、まず、学校のごみを減らす取組を通して、自分なりの課題に沿って意欲的に追究し、平さんをはじめ複数の人物に寄り添って共感的に調べ、表現物にまとめてきている。子どもたちの考えは〔A：段ボールコンポスト(スローフード)〕〔B：リサイクルもったいないバザー〕の2つに分かれており、自分の取組や活動を整理した事実を表現物に整理し、まとめてきている。子どもたちの表現物には、学校のごみを減らす取組のよさと、「エコフェスタ」で発信したい内容が書かれている。

交流活動の工夫について

お互いのごみ減量に対する取組のよさを知り、「エコフェスタ」に向けての考えの違いを確かめながら、お互いの考えから新たな課題に気づき、環境に対する自己のあり方を見直す聴き合い活動を行う。そうすることで、相互に考えの違いを認めながらも、友達の考えのよさに納得し、それを受け入れることで、自己のあり方を見直したり、自尊感情を高めたりすることができる。発表するときには、追究した事実や取組のよさをもとに発言し、順序よく根拠や資料を提示すること、「確かめ」や「質問」をすることを確認する。また、聴き合い活動では、考えマップに友達の考えのよさを書き込ませ、聴き合うことへの期待感や成就感、さらに、次の活動への意欲の高まりや考えの見直しにも役立てていきたい。

評価活動の工夫について

前時までのそれぞれの課題追究における考えを蓄積したポートフォリオを、本時授業場面で活用する。まず、発表の補助資料として活用させ、相手に分かりやすく伝えるようにする。次に、共通点を見出すために、これまでの学習とつながる内容を振り返る。最後に、自己評価カードを記入するときに、環境に対する自分の考えの変容に気付かせるために、前時までに記入している自己評価カードを振り返らせ、考えマップや板書の内容も合わせて、要点をまとめながら適切な表現ができるようにする。このような評価活動の工夫を行うことで、お互いに賞賛し合いながら学習に対する成就感と自尊感情を高めていきたい。

・規準に満たない子への支援

聴き合いに意欲的でない子どもや課題が見付からない子どもには、自分の取組をポートフォリオで想起させたり、自分と友達の考えを比べたりつないだりさせて、考えを見直すようにうながしていく。また、板書に示された要点やポートフォリオをもとに、課題を具体的に考えさせるようにしていきたい。

9 準備

フリップ・模造紙・プレゼンなど、考えマップ、写真資料、統計資料、ポートフォリオ、自己評価カード、指示棒、スクリーン、プロジェクター、コンポスト・リサイクル作品など

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>学習問題：環境によい赤坂の街にするために、自分たちにできることを考え、地域に発信しよう。</p> <p>本時のめあて：、「赤坂エコフェスタ」でどんなことを発信したらよいかを聞き合い、友達の見つけ、自分の考えを見直そう。</p>	<p>本時のめあてを確認し、学習の見通しをもたせるようにする。</p>	<p>基準A</p> <p>・意欲的に聞き合い、友達の見つけようとする気持ちを高めている。</p>	<p>基準B</p>	<p>活動の写真</p> <p>活動前のごみ調べのグラフ</p>
<p>2 聞き合い活動をする。</p> <p>(1) 異質グループで聞き合う。</p> <p>・それぞれの取組のよさ()と「エコフェスタ」で伝える方法や内容()について聞き合う。</p> <p>【考えA】段ボールコンポスト(スローフード) 給食や家庭の生ゴミを kg 減らせた。堆肥で育てた野菜を見せて、段ボールコンポストのよさを伝えたい。段ボールコンポストを体験させて、誰でも簡単にできることを伝えたい。</p>	<p>考えの違いがわかるように、板書の構成を工夫する。</p> <p>具体物を用い、根拠をもとに発表の仕方を工夫させる。</p>	<p>・自分の考えを具体物を用いて効果的に表現し、相手に分かりやすく伝えていく。</p>	<p>・自分の考えを具体物を用いて表現しながら、相手に伝えようとしている。</p>	<p>フリップ</p> <p>模造紙</p> <p>プレゼン</p>
<p>・ 友達の考えのよさを見付け、考えマップに記入する。</p> <p>(2) 全体で聞き合う。</p>	<p>考えの根拠に妥当性があり、納得できる考えを考えマップに記入させる。</p>	<p>・複数の根拠と複数の資料をつないで自分の考えを分かりやすく発表している。</p>	<p>・根拠や資料をもとに自分の考えを発表している。</p>	<p>コンポスト</p> <p>リサイクル作品</p> <p>など</p>
<p><共通点></p> <p>環境をよりよくするためには、自分に続けられることを見付けて、仲間を増やしていくことが大切である。</p>		<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・友達から取り入れた根拠や資料をポートフォリオで振り返らせる。</p>		<p>考えマップ</p>
<p>・ 自分の考えと友達の考えを比較しながら共通点を考える。</p> <p>・ 地域に発信するための取組に必要な考えを明らかにする。</p> <p>3 ゲストの方の話を聴く。</p> <p>・ 循環生活研究所のTさん</p> <p>4 自己評価カードを記入し発表する。</p>	<p>環境に対する多面的な見方・考え方をもち、ゲストの話を聴かせ、思いや生き方に触れさせる。</p>	<p>・ 学習問題の答えについて、2つ以上の観点から検討し、これからの環境に対する自分のあり方を見直している。</p>	<p>・ 学習問題の答えについて、板書をもとに自分なりの考えをもち、これからの環境に対する自分のあり方を見直している。</p>	<p>ポートフォリオ</p>
<p><本時でめざす子どもの姿></p> <p>わたしは、段ボールコンポストの取組を行いました。今日の聞き合いで、リサイクルもったいないバザーの取組も大切なことがわかりました。ゲストの方の話を聴いて、仲間と一緒に楽しく取り組めば、学校も地域もきれいになり、ゴミゼロで環境によい街になるので、これからも続け、地域にもどんどん発信しようと思います。赤坂エコフェスタがとっても楽しみです。</p>		<p>基準Bに達しない子への支援</p> <p>・活動に取り組んで考えたことや、板書、ポートフォリオをもとにして考えさせるようにする。</p>		<p>自己評価カード</p>
<p>5 次時の学習を知る。</p> <p>・ 自己評価カードをもとに、今後の活動に対する自分の考えを再構成することを伝える。</p>	<p>自分の考えを見直したり、深めたりするために、意図的に指名する。</p>			